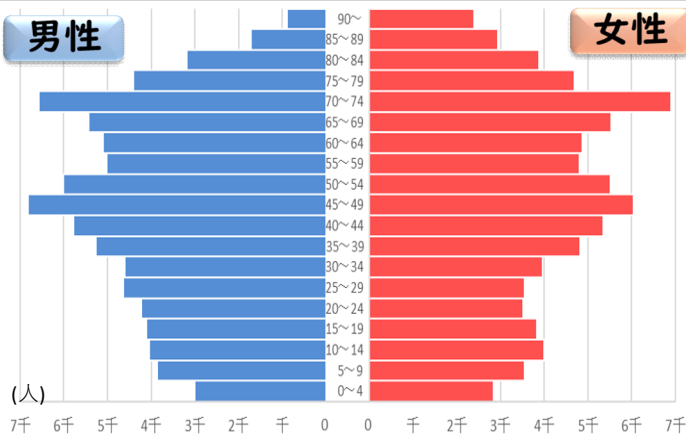
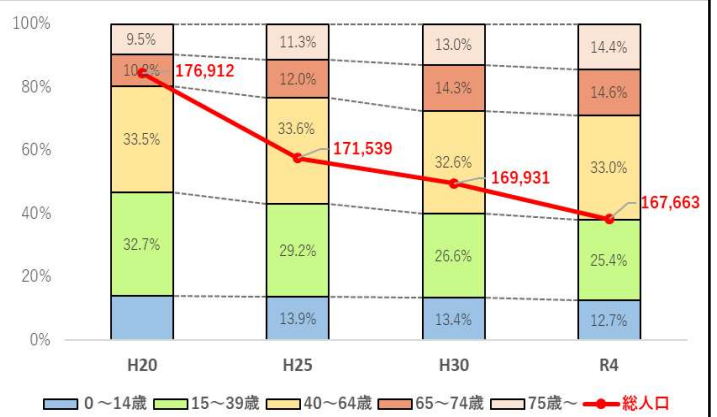


男女別年齢階級別人口（令和4年3月末時点）＊1

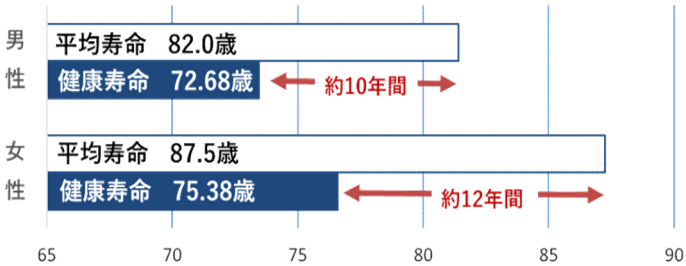


人口推移（各年3月末時点）＊1

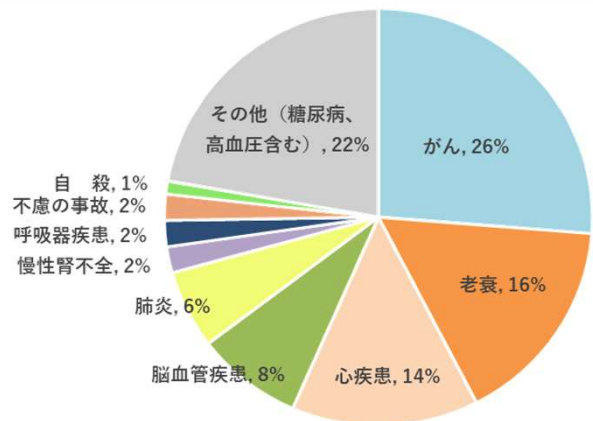


健康寿命 ＊2

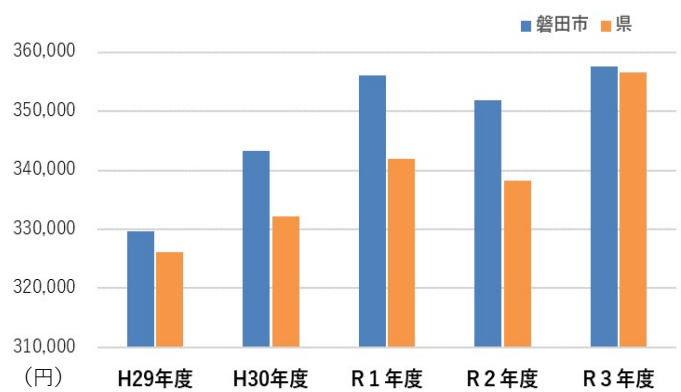
医療や介護に依存せず自立した生活ができる期間



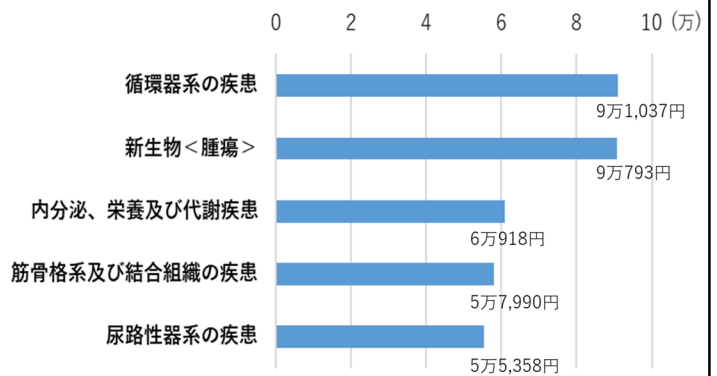
主要死因別順位（令和元年度）＊3



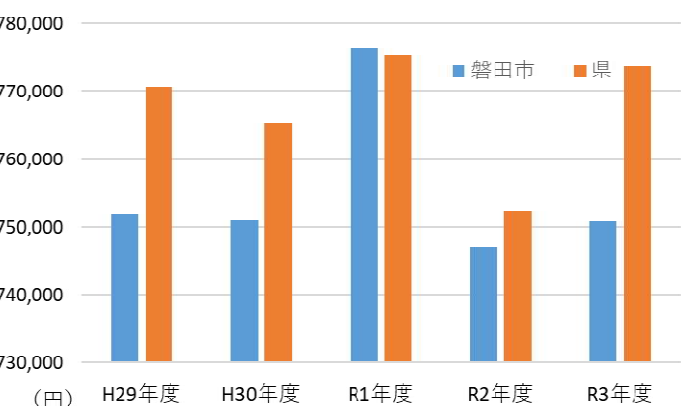
国保 一人当たり医療費 ＊4



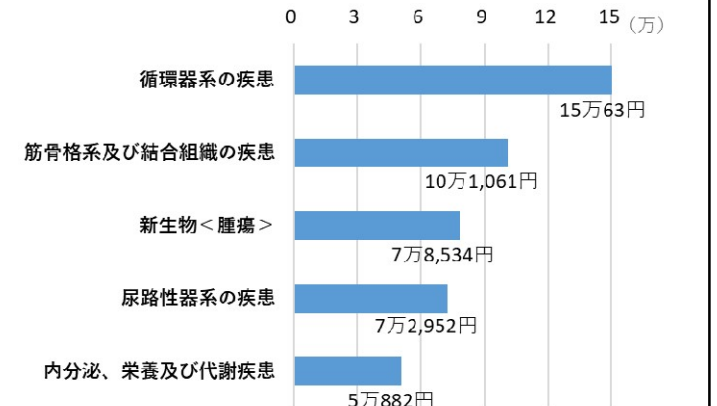
一人当たり医療費疾患別上位5位（令和3年度）＊4

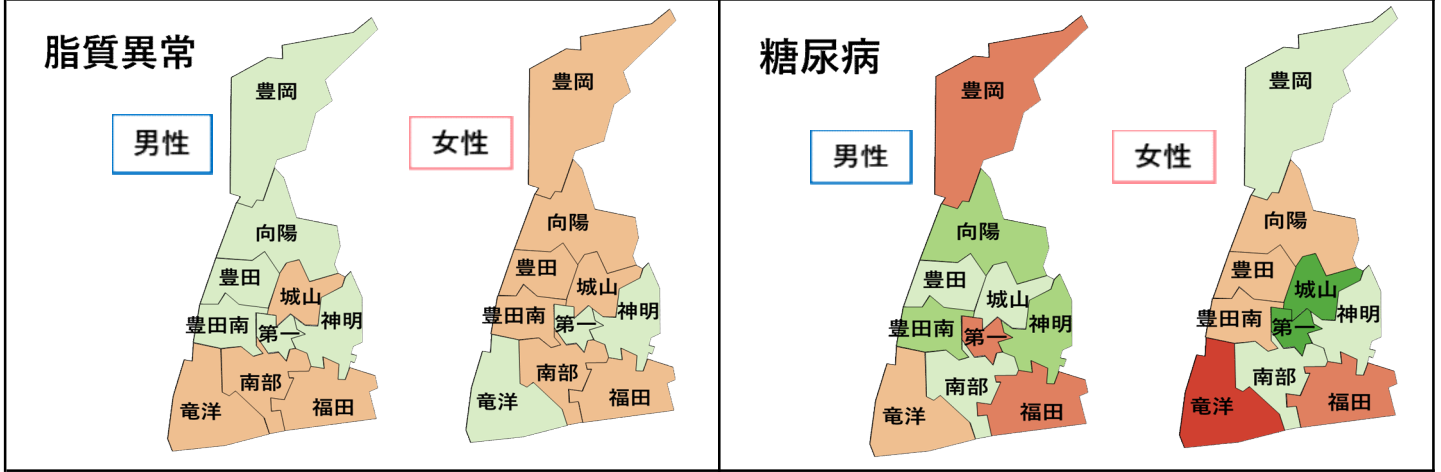
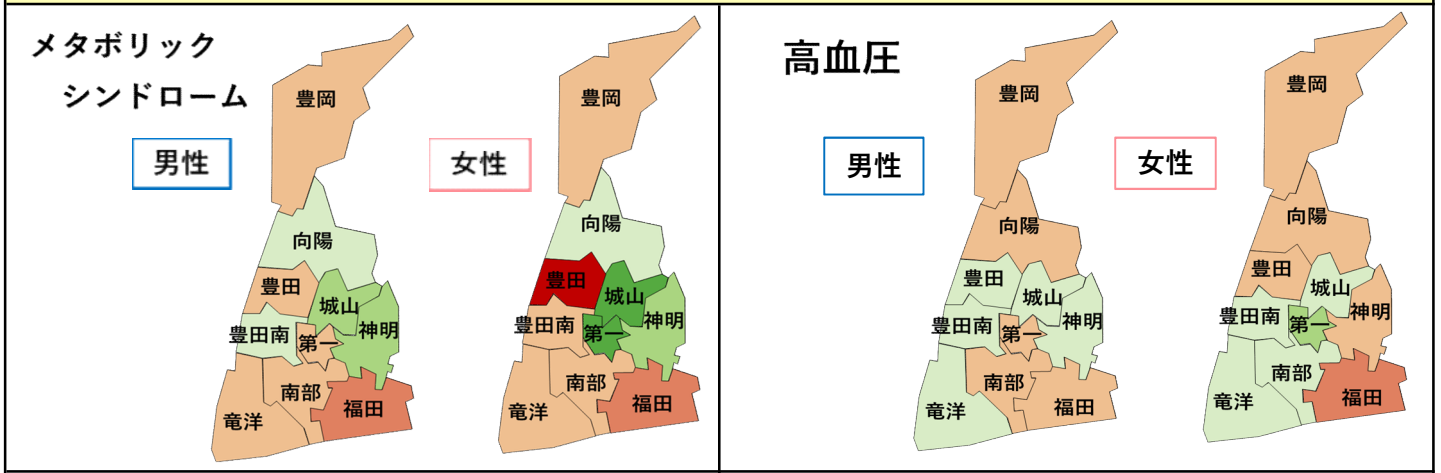
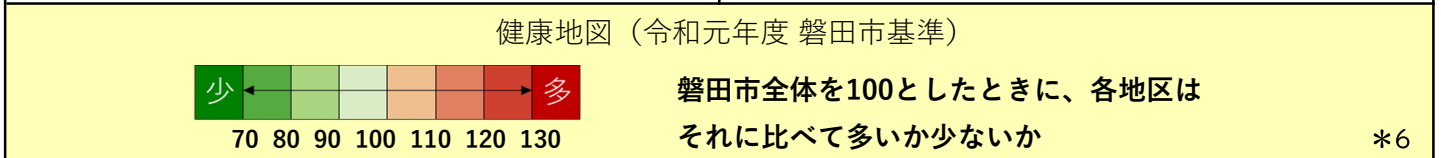
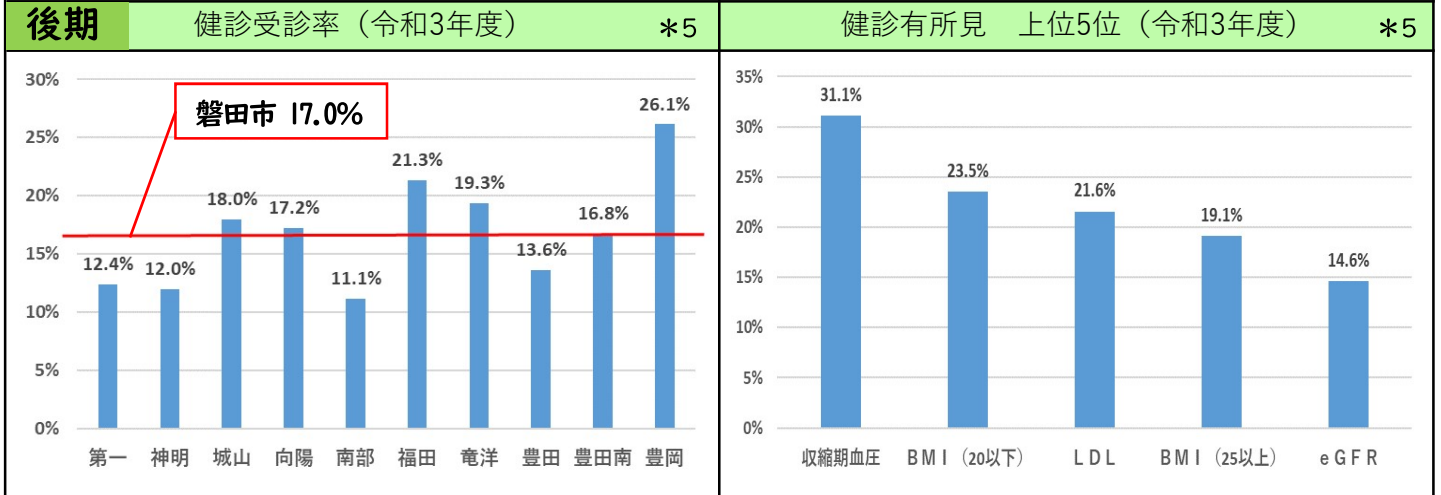
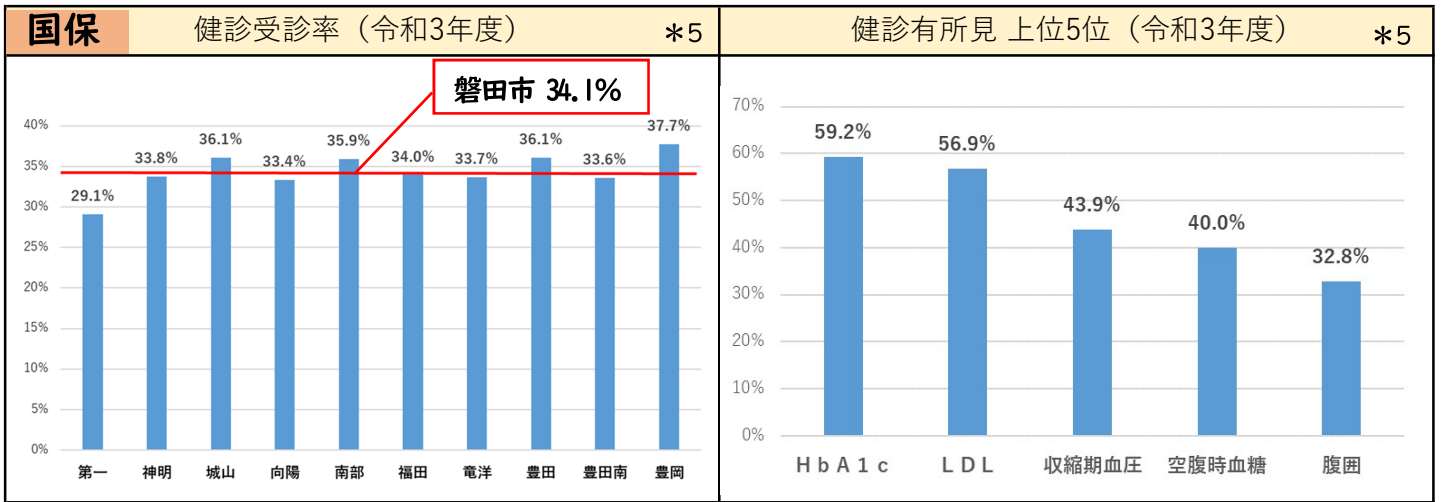


後期 一人当たり医療費 ＊4

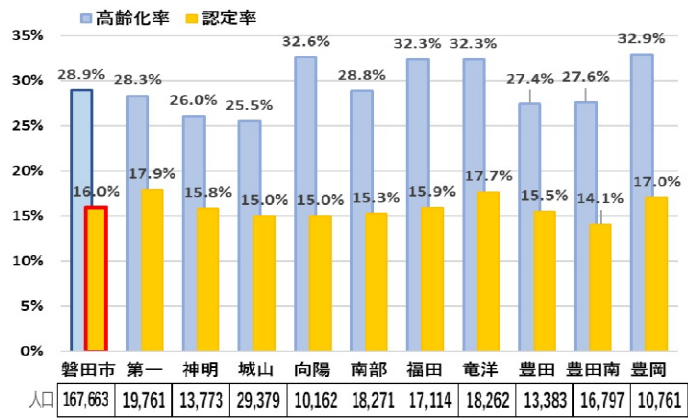


一人当たり医療費疾患別上位5位（令和3年度）＊4

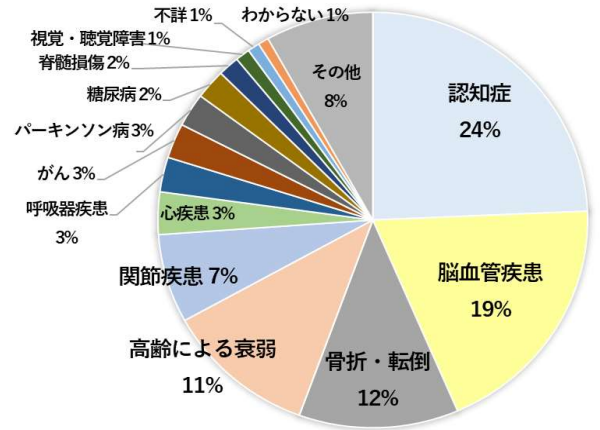




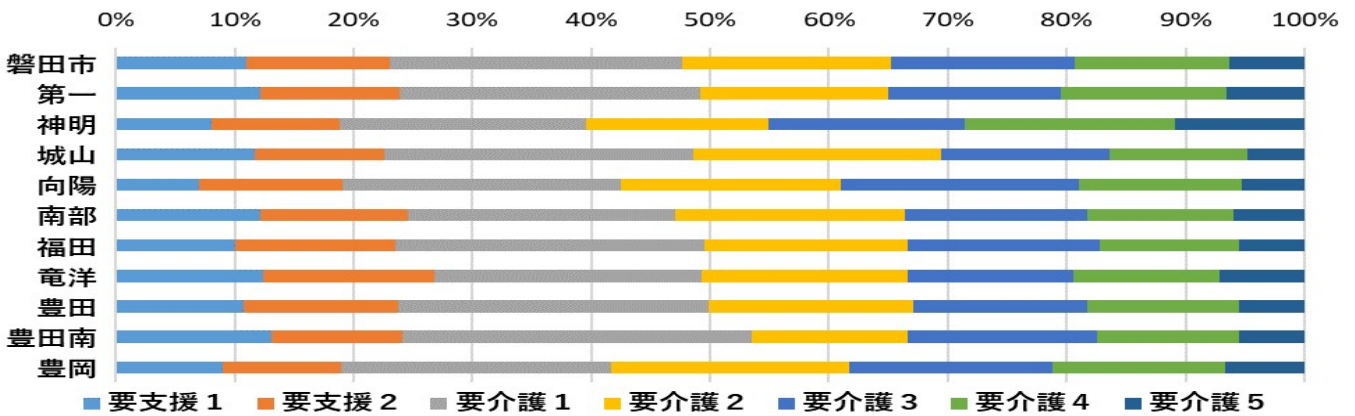
高齢化率と要介護認定率（令和4年3月末時点）*7



介護が必要になった主な疾病（令和元年度）*8

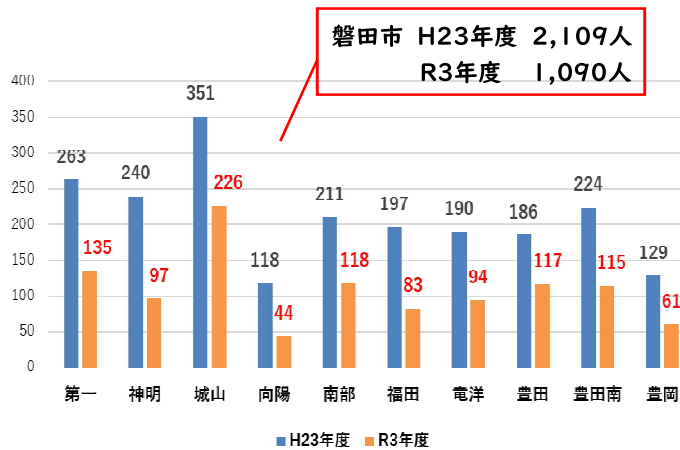


要介護度別の認定者数の割合（令和4年4月1日時点）*7

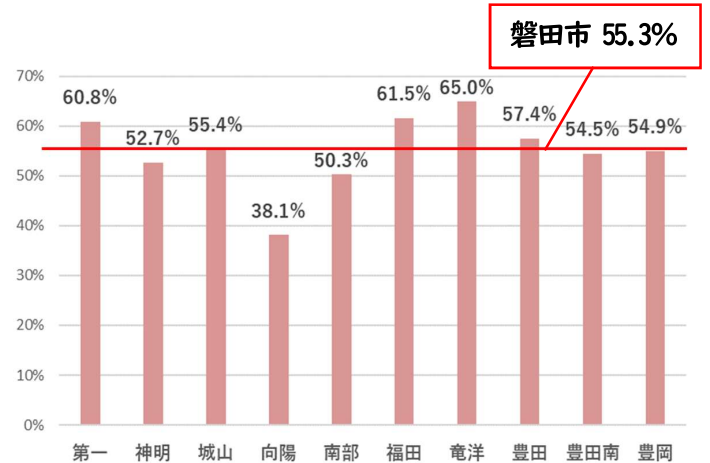


出生数 10年間の比較

*9

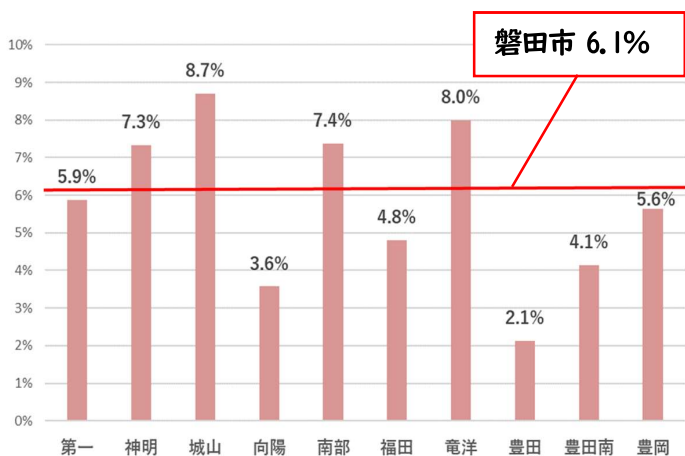


21時以降就寝（令和3年度 3歳児健診）*10



肥満（令和3年度 3歳児健診）*10

*10



むし歯（令和3年度 3歳児健診）*10

*10



磐田市の現状と課題

【磐田市の特徴と健康課題】

磐田市も少子高齢化が進んでおり、今後も高齢化は加速し地域の担い手がますます減ってくる事が予測されます。皆が元気で地域を支え合えるよう、健康寿命延伸に向けて生活習慣病予防の取組みが必要です。

○働き盛り世代

- ・メタボリックシンドローム、高血圧など生活習慣病の特徴が見える地区もあるため、地区に合わせた取組みが必要です。
- ・循環器疾患の一人当たり医療費が高く、動脈硬化の原因であるLDLコレステロール、血圧も健診有所見の上位になっています。適切な医療受診や年に1回健診受診をして健康状態の把握していくことが大切です。

○シニア世代

- ・肥満よりも痩せが増え始め、骨折・転倒を含む筋骨格系の医療費が上位となっています。要介護に移行しないために、骨粗しょう症やフレイル予防の取組みが必要です。

○こども世代

- ・肥満やむし歯、生活リズムが体やこころに与える影響は大きいため、まずは、家族ぐるみで生活リズムを意識する取組みが必要です。

参照データ一覧

- *1 磐田市統計情報より
- *2 健康寿命：静岡県令和元年度 第16回健康日本21(第2次)推進専門委員会資料(厚生労働省)平均寿命：磐田市令和2年度 「国保データベースシステム (KDB)」より
- *3 令和元年度静岡県人口動態統計 8-4 市区町別死亡数より
- *4 しずおか茶っとシステムより
- *5 しずおか茶っとシステムより (健診有所見) 国保：保健指導判定値を基準に算出
後期：受診勧奨判定値を基準に算出
- *6 令和元年度特定健康診査データより
分析対象者：健保組合、共済組合、市町国保加入者のうち特定健康診査受診者
○メタボリックシンドローム：内臓脂肪型肥満(腹囲：男性85cm以上、女性90cm以上)+
脂質異常症、高血圧、高血糖のうち2つ以上
○高血圧：収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mm/Hg以上
○脂質異常：LDLコレステロール140mg/dL以上、HDLコレステロール40mg/dL以上、
中性脂肪150mg/dL以上のいずれかに該当
○糖尿病：空腹時血糖126mg/dL以上またはHbA1c6.5%以上
- *7 磐田市統計情報、高齢者支援課要介護認定者情報より
- *8 令和元年度国民生活基礎調査より
- *9 ログヘルスシステムより 平成23年度と令和3年度の出生数を中学校区別に算出
- *10 ログヘルスシステムより 3歳児健康診査アンケート項目21時以降就寝・肥満20%以上、
むし歯あり※の該当者を中学校区別に算出(各地区の項目該当者÷各地区の健診受診者数)
※未治療、治療済みの者含む

【問い合わせ】

健康増進課 地域保健グループ
☎0538-37-2013